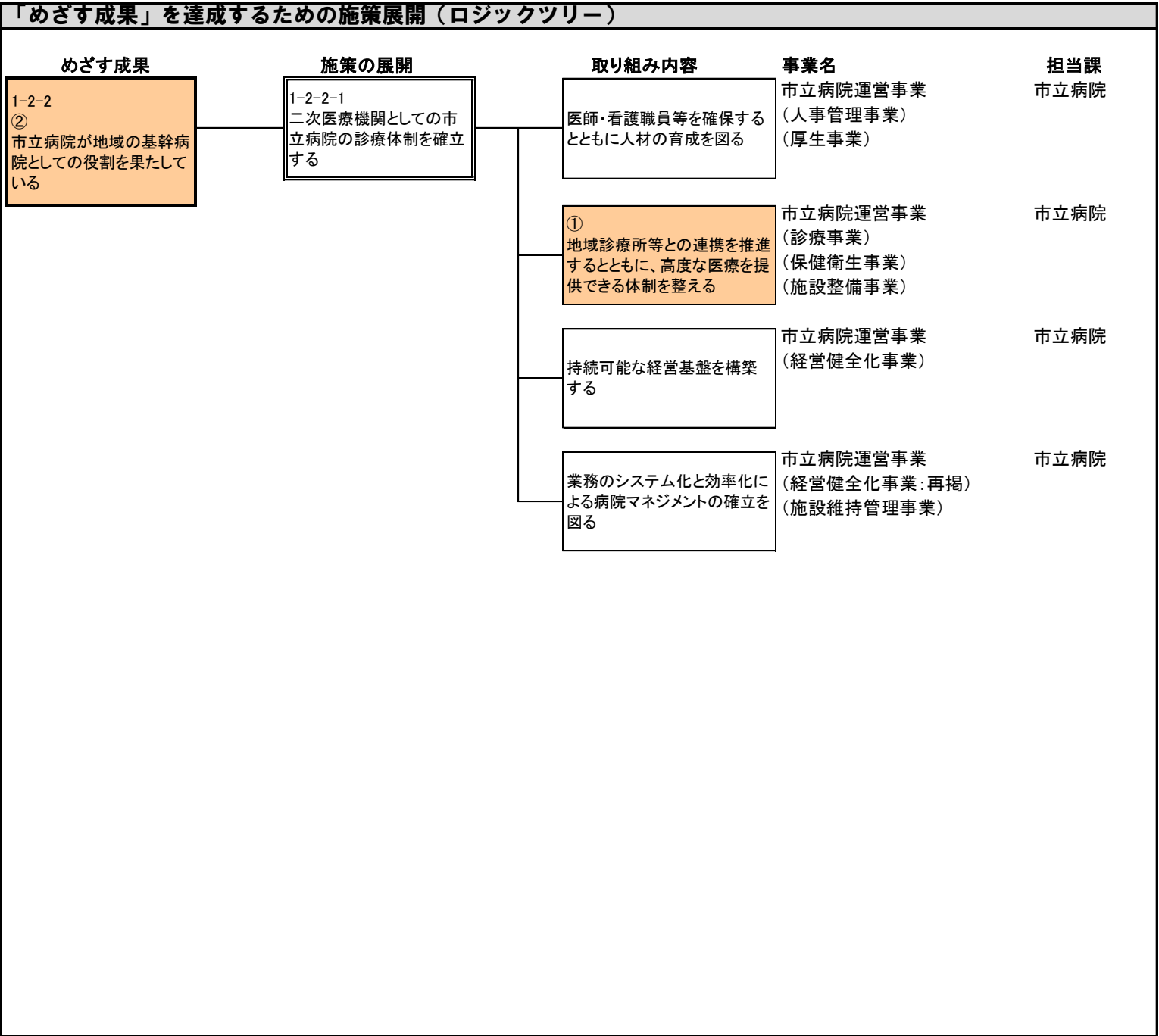


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－2－2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている 診療所や他の病院との連携、災害時への対応が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合	28.3%	42.0%	50.0%	52.8%	60.0%	65.0%
	② 患者満足度調査における満足度の割合			87.9%	88.8%	93.0%	94.0%

所 管 部	病院事務局	
平成26年度の取り組み内容	【二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する】 ・医師、看護師など診療に欠かすことができない職種の確保・増員に注力し、前年度末に比較して、医師は76名から78名、看護職員は318名から321名に増員することができました。 ・地方公営企業の会計制度変更に伴い、平成26年度は赤字決算となりましたが、大和市立病院経営計画（平成24年度から26年度）に基づく継続的な経営改善によって、平成22年度から5年連続で経常損益を黒字にすることができました。 ・平成26年5月に、新たな診療科として歯科口腔外科を開設しました。また、地域医療連携室が中心となり、医療機関等と連携を推進したことにより、紹介率が平成25年度の50.0%から52.8%へ上昇しました。	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・新たな大和市立病院経営計画（平成27年度から30年度）に基づき、病院ホスピタリティの向上を心がけた医療サービスの提供に努め、黒字化による累積欠損金の減少に向けて、継続的に採算性を改善していきます。 ・高齢化によるがん患者の増加が見込まれることから、がん診療体制の充実（専門知識を有する職員の養成、がん相談支援など）に取り組みます。	
今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）